

ハマ・アツプだより

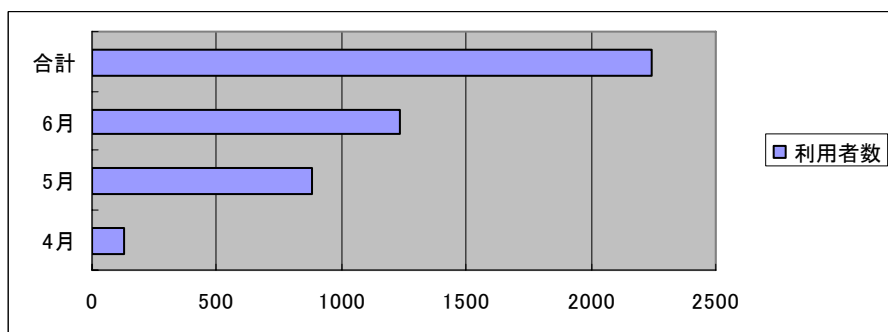
～ 授業改善支援センター ～

平成19年7月31日
授業改善支援課

Vol. 1

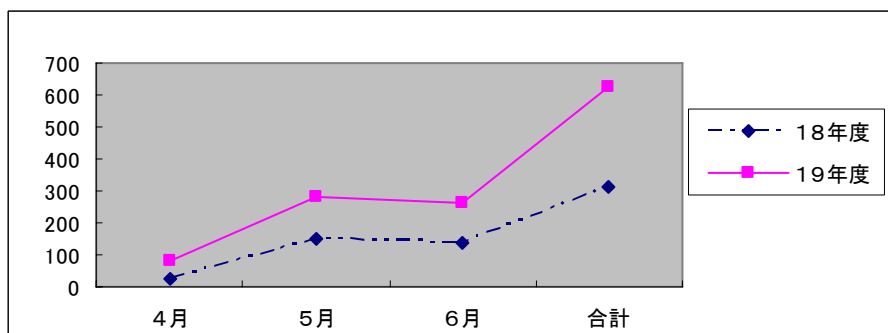
夏休みの少しゆったりした時間を利用して、先生方の授業力を高めてみませんか？
「ハマ・アツプ」では、そんな先生方の来館をお待ちしています。
今回は、「ハマ・アツプ」の利用状況や夏季休業中の開館日をお知らせするとともに、普段「ハマ・アツプ」をご利用いただいている方々から寄せられた声をご紹介します。

4月から6月までの利用状況



利用者数が、月を追うごとに増えています。これは、授業研究が本格的に動き出した結果であることが、利用者カードの「利用目的」の欄からも伺えます。また、今年度より平日（月～金）の開館時間を全て午後9時まで延長したことにより、勤務時間後や出張の時などに利用しやすくなったことも大きな要因として考えられます。

18年度、19年度図書帯出冊数の比較



図書帯出冊数の増加は、今年度より一人二冊まで借りられるようにしたことや新たに月刊専門雑誌のバックナンバーの貸し出しを始めたこと等に起因していると思われます。

夏季休業中（7/23～8/31）の「ハマ・アツプ」

開館時間 9:00～17:00

休館日 土曜日、日曜日

※9月1日からは、通常日程に戻ります。



平日（月～金） 13:00～21:00

土曜日 9:00～17:00



「ハマ・アップ」 5つの？

「ハマ・アップ」って、どんな意味？

「ハマ・アップ」の正式名称は、「授業改善支援センター」です。名称のとおり授業づくり、授業改善の支援はもとより、学級づくりや学校づくりの支援も目的としています。

平成17年の設立時に愛称を募集し、横浜の授業力、学校力等の向上の場ということで「ハマ（横浜の教育）・アップ（さまざまな力の向上）」という愛称に決定しました。



なぜ、「大村はまコーナー」があるの？

数多くの素晴らしい教育実践から、「授業の神様」と言われた大村はま先生は、横浜の生まれで元街小学校を卒業されました。教師生活の主な活動の場は東京でしたが、横浜をこよなく愛され、当教育センターでの研究会等にも何度も足を運ばれてご指導くださいました。

一時間一時間の授業を大切に、教師の道を力強く歩んでいる全ての横浜の教師にとって、更に大きな道しるべや励みとなるように、先生の著書や関連資料を展示した特設コーナーを設置してあります。夏休みに、大村はま先生の世界を共有してみませんか。

今年度新設した「指導主事・学校長等推薦指導案及び指導実践記録コーナー」とは、何のため？

指導案や実践記録などを校種・教科・学年ごとのボックスファイルに収め、利用者が優れた指導案をより探しやすくなるようにしました。

現在、全指導主事・学校長と教科等の研究部長に推薦指導案の送付を依頼しておりますので、今後一層の充実が図られるものと思われます。

皆さんの指導案が、優秀指導案として推薦され、当コーナーに並ぶことを期待しております。

受付をしている人は、どんな人？

横浜市立学校を退職して、教師塾や、教育課程、研修事業等にかかわっている18名の教育顧問が交替で担当しています。

教職経験が豊富なメンバーですので、授業づくりや学級づくり、その他どんなことでもご相談ください。



「信頼される学校づくり、学級づくり」相談もどうぞ！！

「利用者カード」はなぜ書くの？

市の施設なので、利用者数や利用目的などの状況報告を、さまざまな場で求められます。その際のデータとして活用させていただいています。また、これらの実態は、当施設への予算配当にもかかわってきます。

どうぞご面倒でも「ハマ・アップ」の一層の充実のため、ご記入をよろしくお願いいたします。

横浜市授業改善支援センター
「ハマ・アップ」

〒 231-0031
TEL 045-671-3750

横浜市中区万代町1-1
FAX 045-663-0152